

8. 歯

(1) 歯の本数

問28 現在、あなたの歯は何本ありますか。親知らず・さし歯も含め、全て数えます。
 ※永久歯の本数は28本です。(親知らずが4本ある場合は32本となります)
 ※さし歯とは、残っている歯根の上に人工的に歯を作っているものをいいます。また、インプラントは数に含めません。

全体では、「28本以上」が46.0%と最も高く、次いで「20本～27本」が33.4%、「10本～19本」が7.9%となっている。「28本以上」と「20本～27本」を合わせた『20本以上』は79.4%となっている。

(図8-1-1)

性別にみると、「20本以上」は女性(81.0%)が男性(77.4%)より3.6ポイント高くなっている。

(図8-1-1)

性・年齢別にみると、男女ともに15～59歳では「28本以上」が最も高く、60歳以上では「20本～27本」が最も高くなっている。男女ともに70歳以上では『20本以上』が5割を超えている。80歳以上で《20本以上》は男性42.1%、女性45.3%となっている。また、40～49歳で「28本以上」は男性72.9%、女性74.1%となっている。(図8-1-2)

図8-1-1 歯の本数(全体/性別)

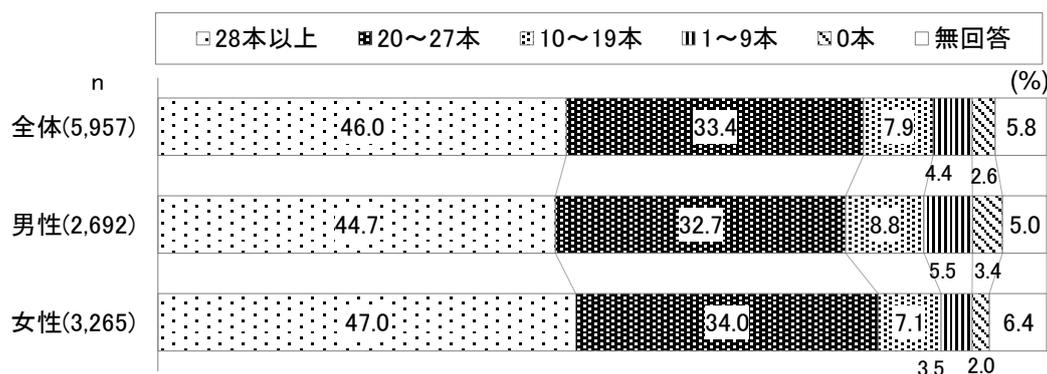
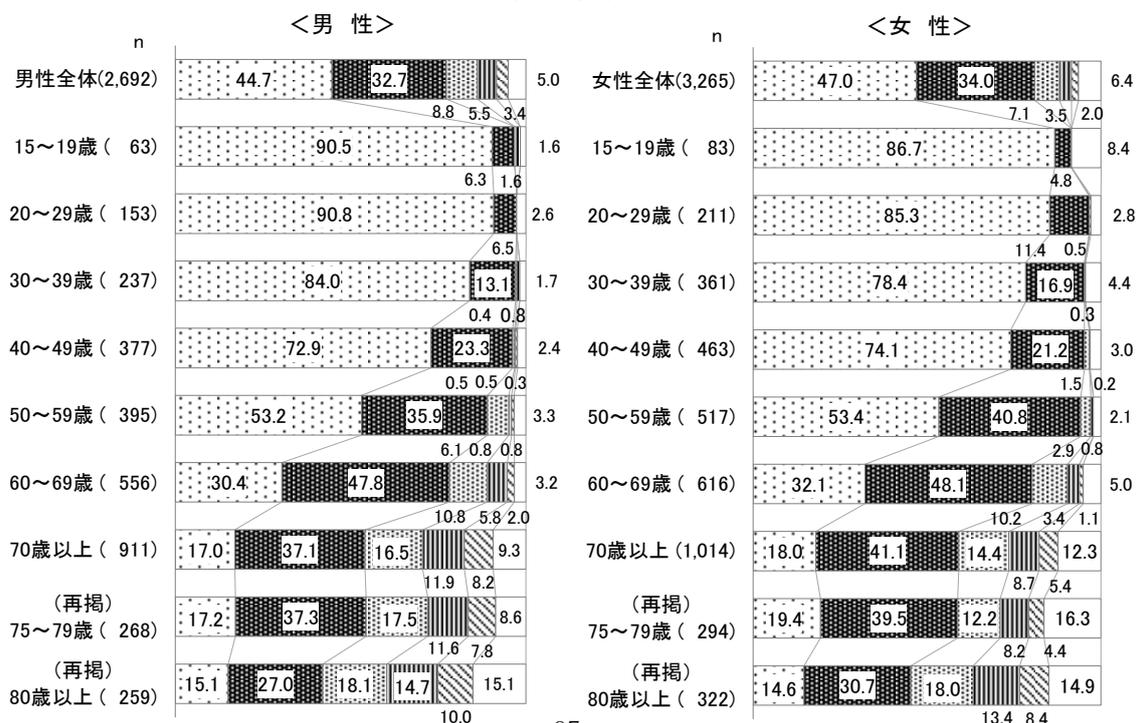


図8-1-2 歯の本数(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「28本以上」は平成25年度以降最も割合が大きくなっている。

(図8-1-3)

性別で過去の調査と比較すると、「28本以上」では男女ともに令和元年度より増加している。

(図8-1-4)

図8-1-3 歯の本数（過去の調査との比較）

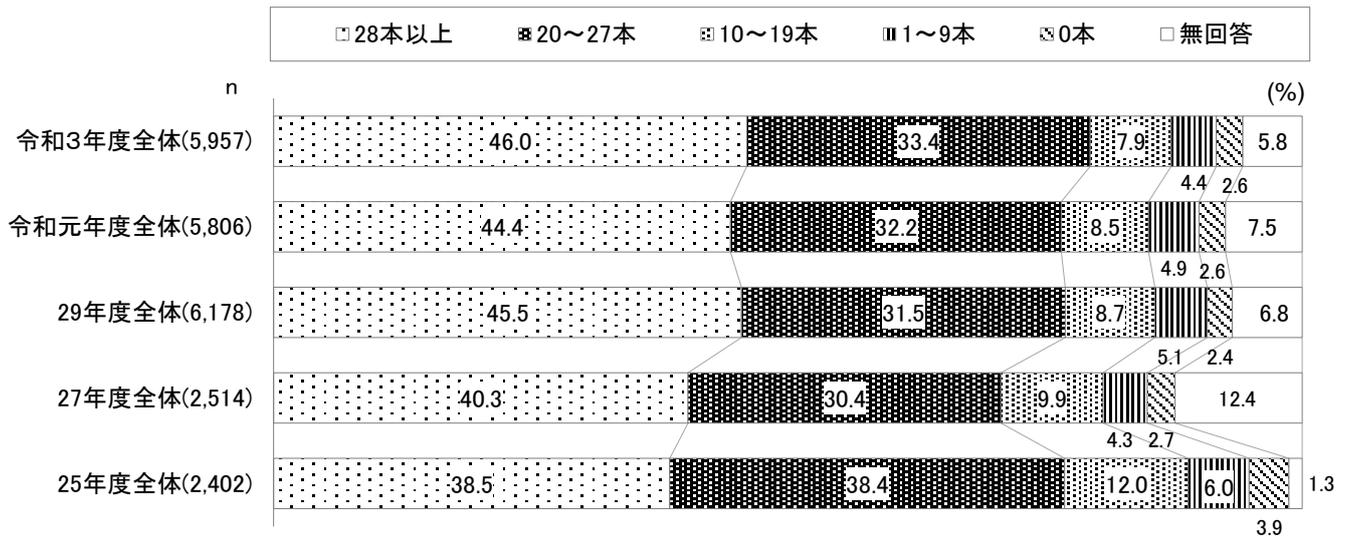
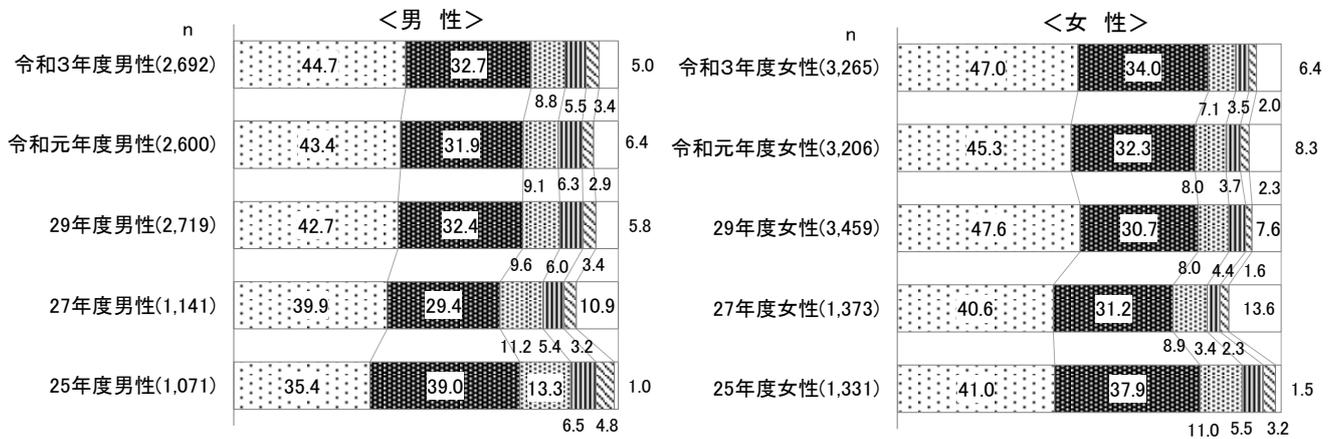


図8-1-4 歯の本数（過去の調査との比較・性別）



※平成29年度より、「※永久歯の本数は28本です。（親知らずが4本ある場合は32本となります）」の説明を追加。

(2) 最近1年間の歯の健康診査の受診状況

問29 あなたは、この1年間に歯の健康診査を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が57.0%、「いいえ」が42.0%となっている。「いいえ」と回答した人のうち、新型コロナウイルスの影響により診査を受けていない人が7.5%となっている。(図8-2-1)

性別にみると、「はい」は女性(60.1%)が男性(53.3%)より6.8ポイント高くなっている。

(図8-2-1)

性・年齢別にみると、「はい」は、男女ともに60~69歳で最も高く、男性が58.3%、女性が63.3%となっている。一方、男女ともに20~29歳で最も低く、男性が42.5%、女性が49.3%となっている。

(図8-2-2)

※新型コロナウイルスの影響により受診していない人は、グラフ内の数値下にカッコ書きで記載。

図8-2-1 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(全体/性別)

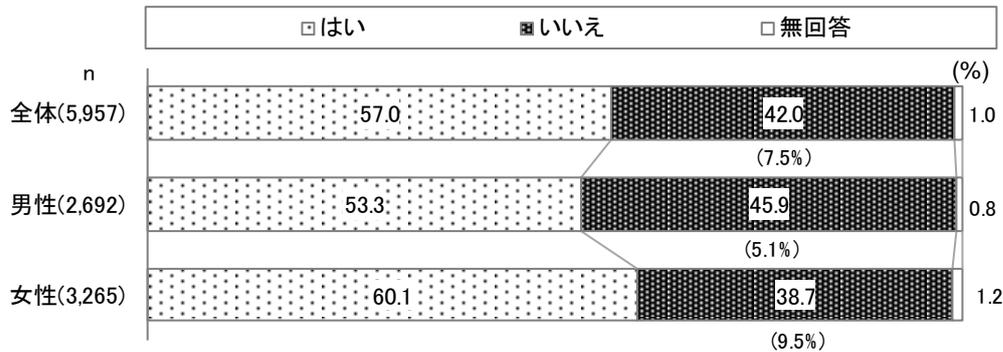
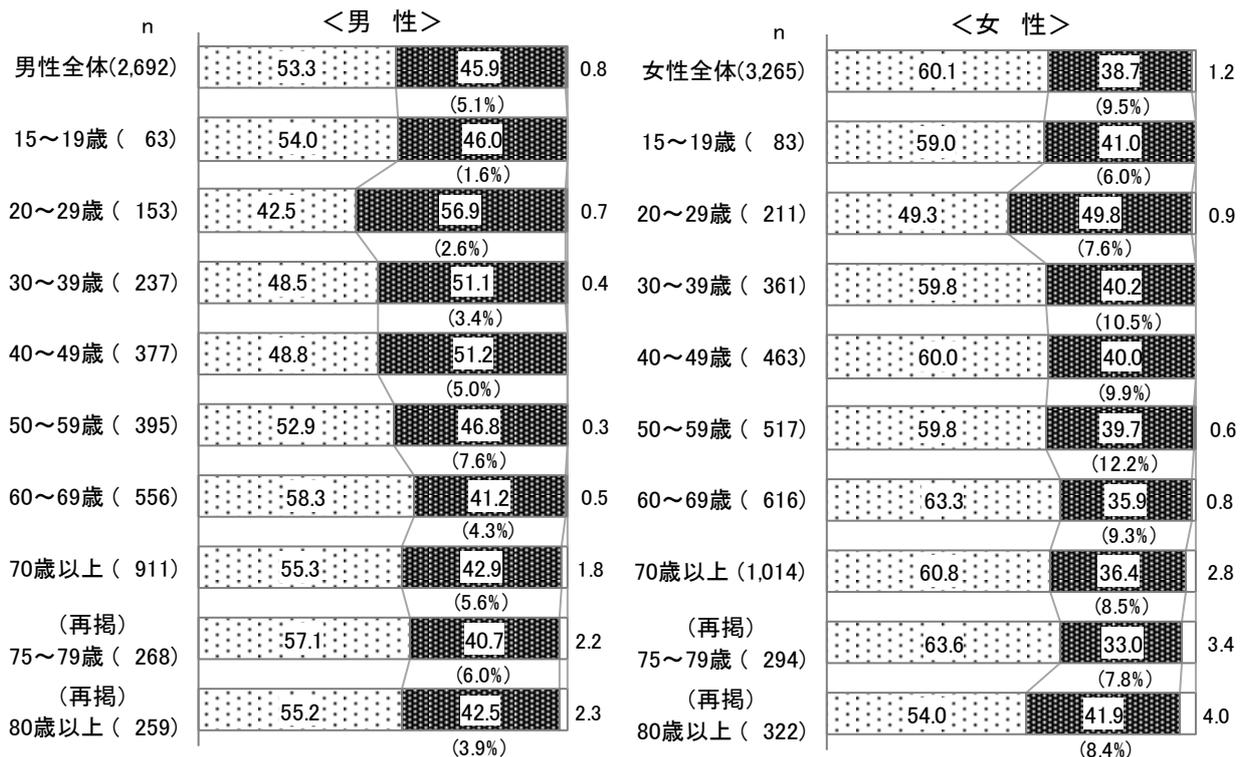


図8-2-2 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(57.0%)は、令和元年度(60.4%)より3.4ポイント減少している。(図8-2-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男女ともに令和元年度より減少している。

(図8-2-4)

※令和3年度のみ、新型コロナウイルスの影響により受診していない人を、グラフ内の数値下にカッコ書きで記載。

図8-2-3 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較)

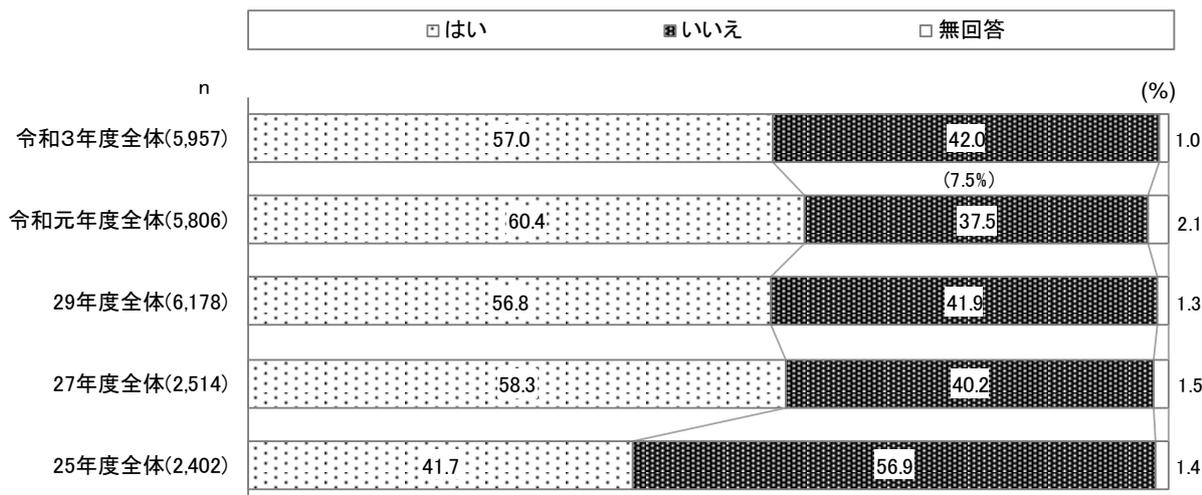
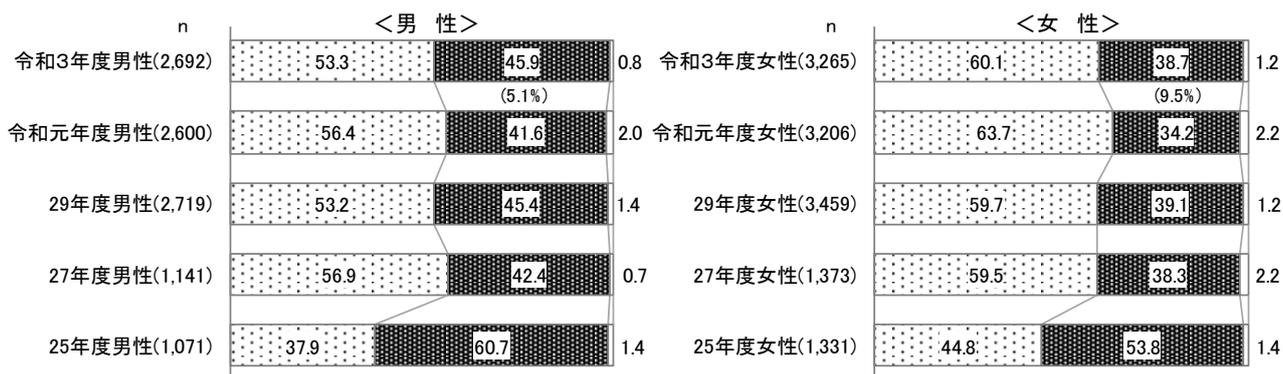


図8-2-4 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較・性別)



(3) 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況

問30 あなたは、この1年間に歯石除去や歯面清掃を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が52.3%、「いいえ」が46.6%となっている。(図8-3-1)

性別にみると、「はい」は女性(56.5%)が男性(47.1%)より9.4ポイント高くなっている。

(図8-3-1)

性・年齢別にみると、「はい」は、男性は70歳以上が50.7%、女性は60~69歳が59.9%で最も高くなっている。男性の29歳以下では4割未満と低くなっている。(図8-3-2)

図8-3-1 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(全体/性別)

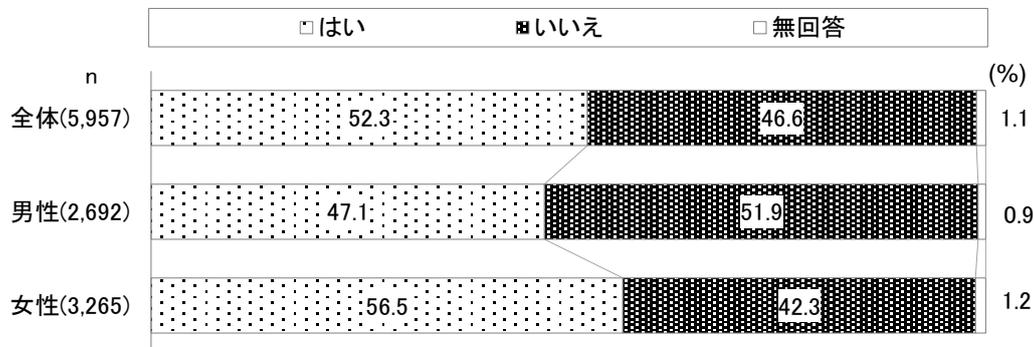
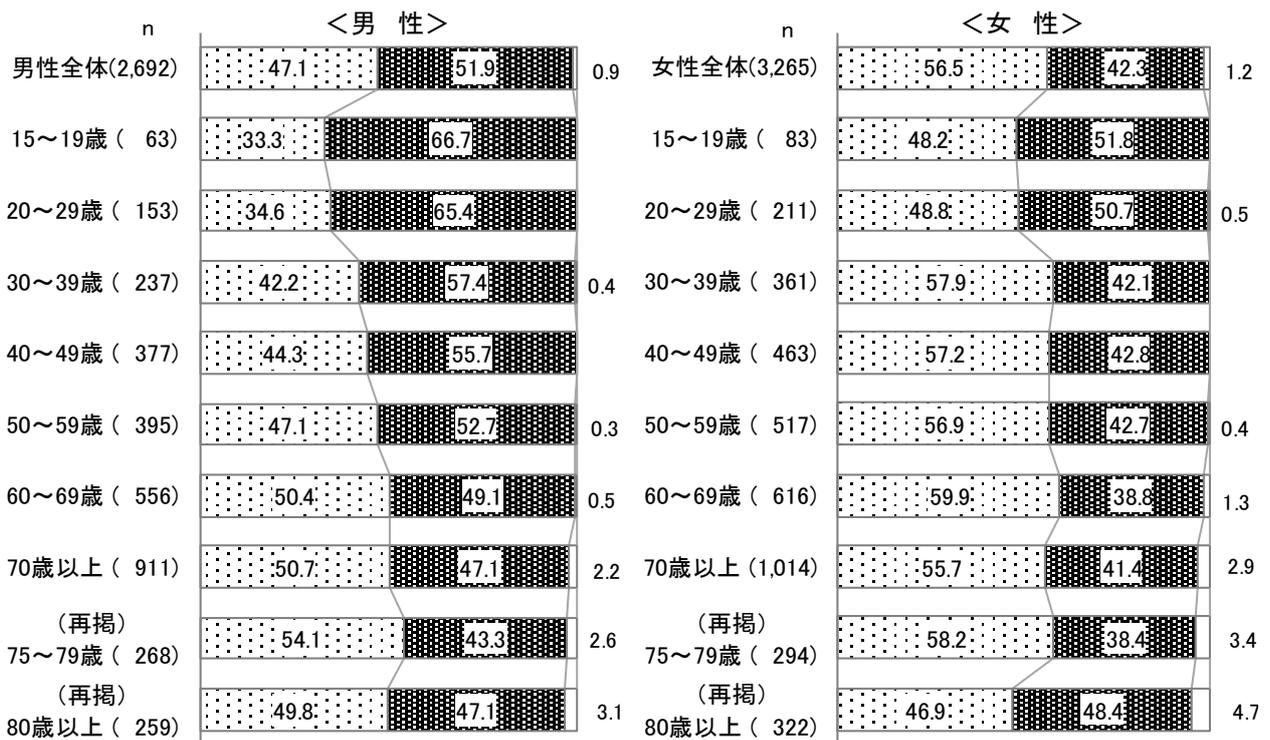


図8-3-2 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(52.3%)は、令和元年度(55.3%)より3.0ポイント減少している。(図8-3-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男女ともに令和元年度より減少している。

(図8-3-4)

図8-3-3 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較)

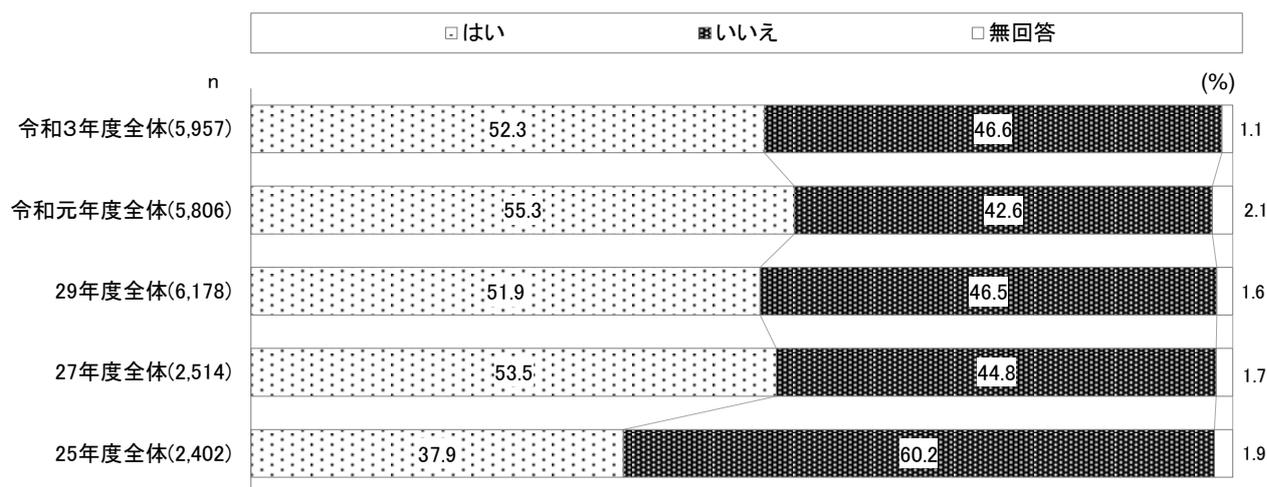
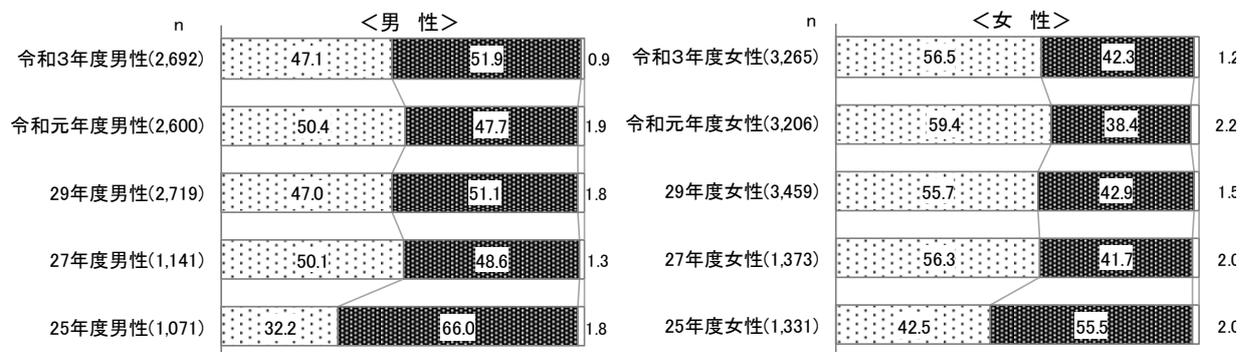


図8-3-4 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較・性別)



(4) 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度

問31 あなたは、歯ブラシ以外の器具（デンタルフロス、歯間ブラシ等）を使って、歯の手入れをしていますか。（○はひとつ）

全体では、「使っていない」が32.1%と最も高く、次いで「週に5日以上使っている」が29.5%、「ほとんど使わない（月に1日以上）」が16.2%となっている。（図8-4-1）

性別にみると、最も差がみられた「使っていない」では、男性（41.2%）が女性（24.6%）より16.6ポイント高くなっている。（図8-4-1）

性・年齢別にみると、男性ではいずれの年齢も「使っていない」が最も高くなっている。女性では15~29歳は「使っていない」、30歳以上は「週に5日以上使っている」が最も高くなっている。

（図8-4-2）

図8-4-1 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（全体/性別）

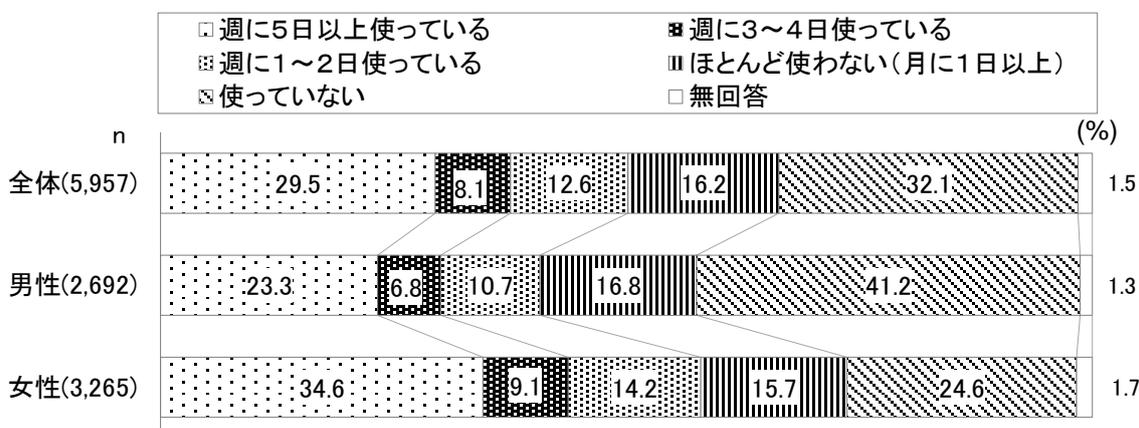
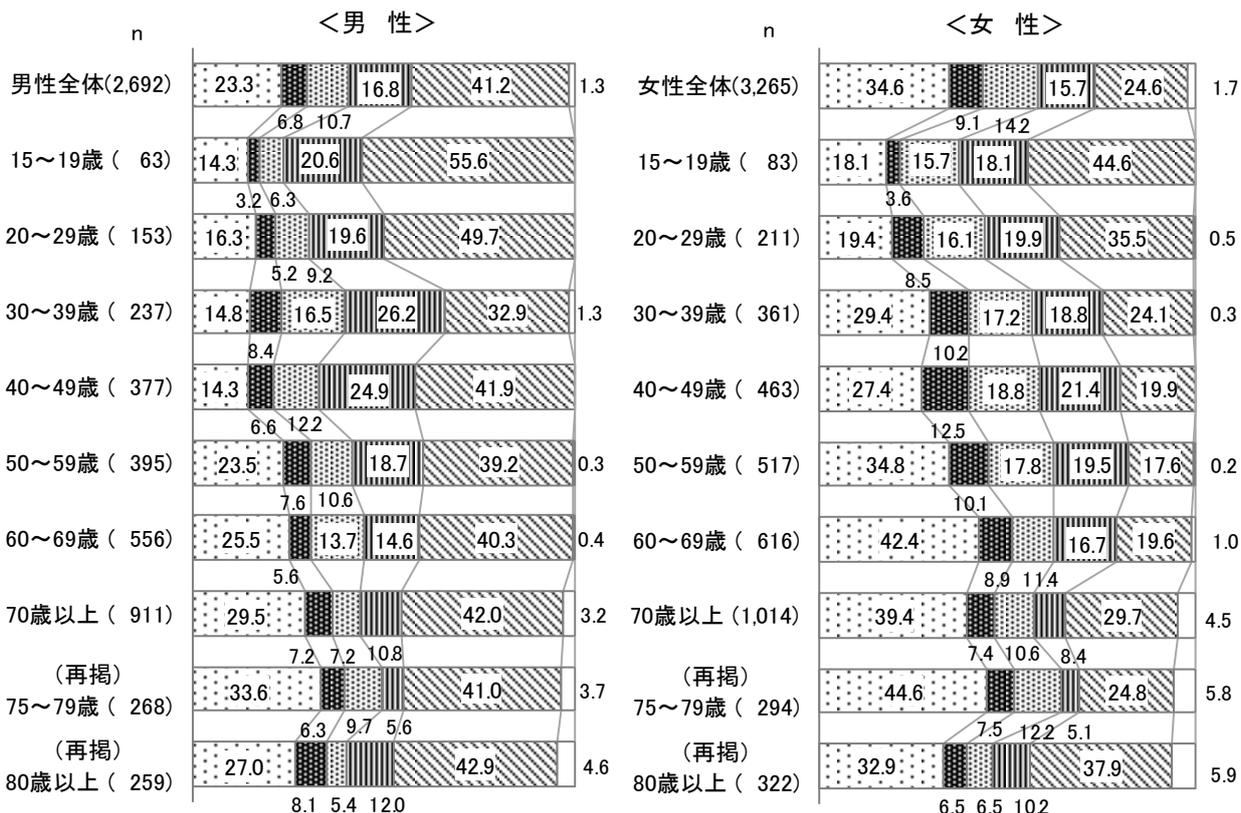


図8-4-2 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「使っていない」(32.1%)は平成27年度以降減少している。

(図8-4-3)

性別で過去の調査と比較すると、「使っていない」は男女ともに減少している。(図8-4-4)

図8-4-3 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較)

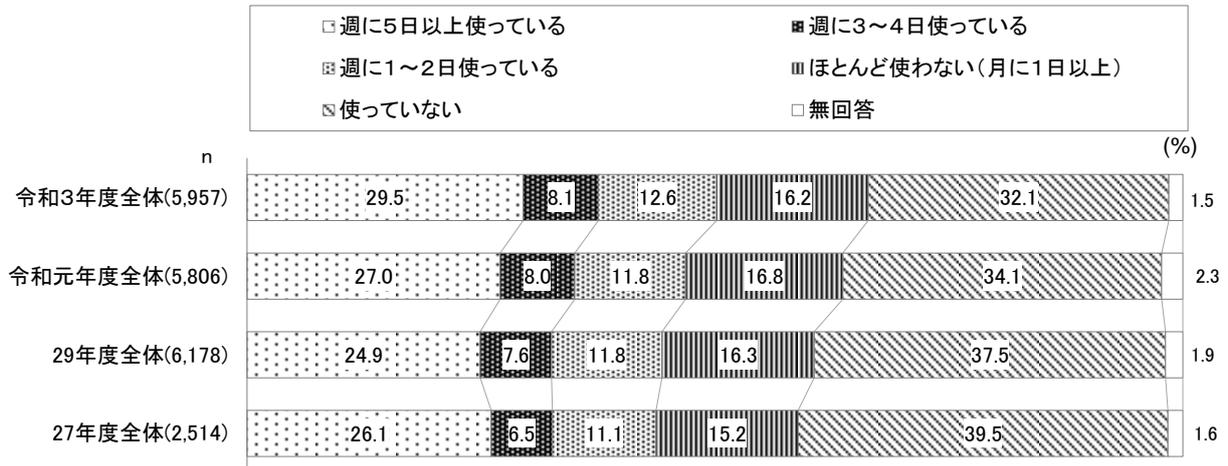
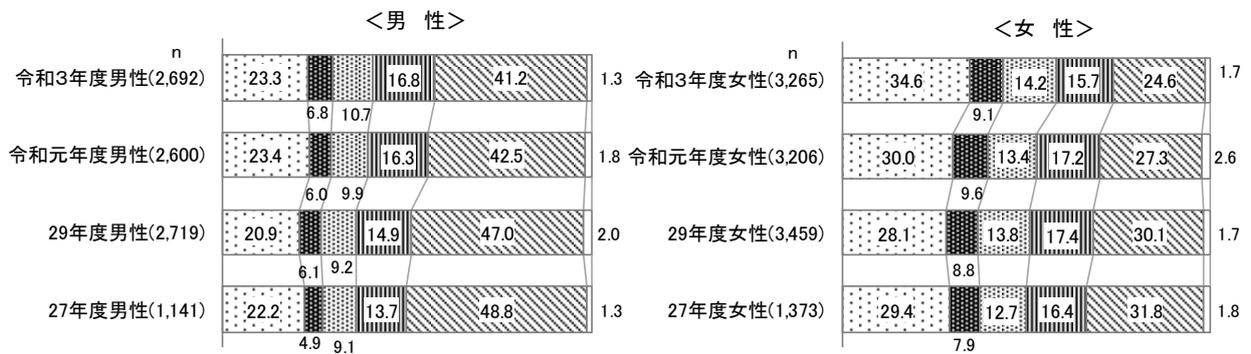


図8-4-4 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査では「ほぼ毎日使っている」を、平成29年度より「週に5日以上使っている」に変更した。

※平成25年度調査では、この質問をしていない。

(5) 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況

問32 あなたは、歯ぐきから出血したり、歯がぐらついたりしていますか。(○はひとつ)

全体では、「そのような症状はない」が61.7%と最も高く、次いで「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」が27.6%、「歯がぐらついている」が5.1%となっている。(図8-5-1)

性別にみると、「歯がぐらついている」では、男性(6.3%)が女性(4.1%)より2.2ポイント高くなっている。(図8-5-1)

性・年齢別にみると、「そのような症状はない」は、男性では30～39歳(53.2%)、女性では50～59歳(54.0%)で最も低くなっている。(図8-5-2)

図8-5-1 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(全体/性別)

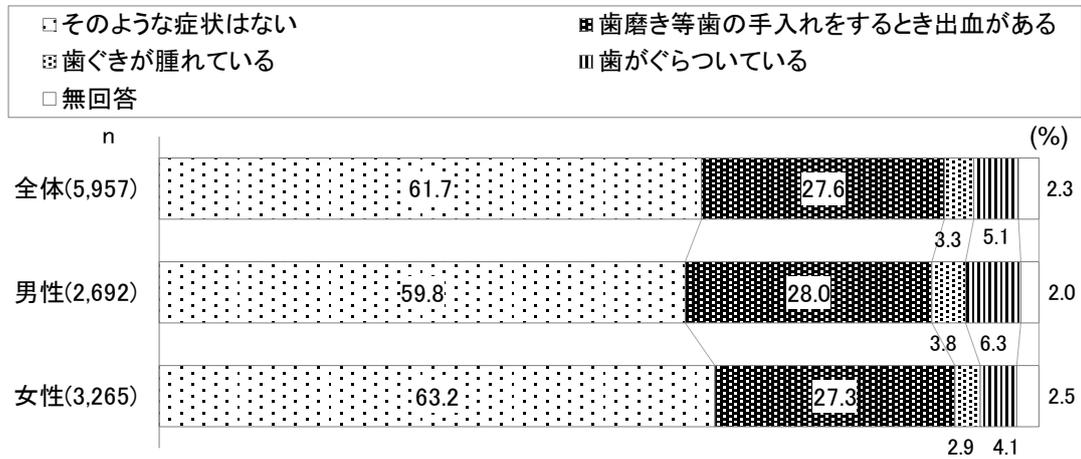
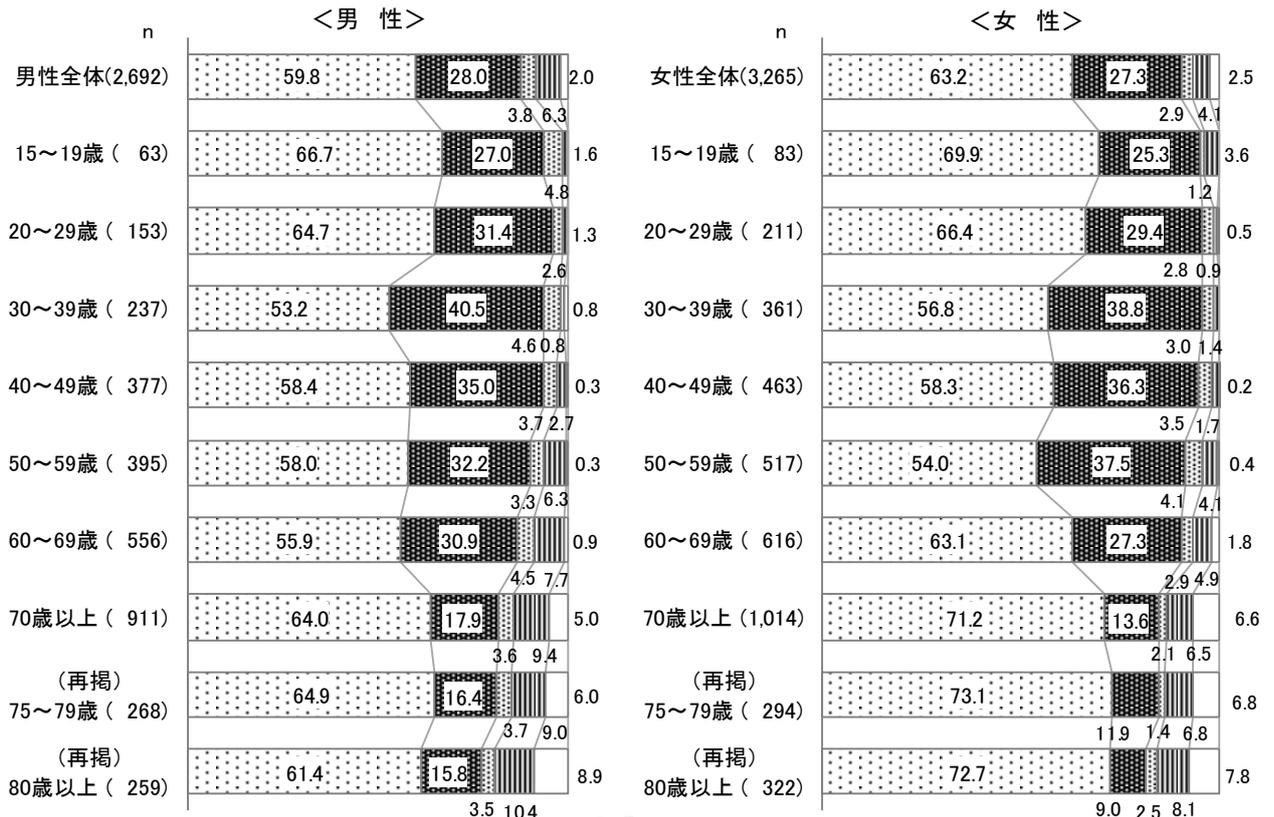


図8-5-2 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」(27.6%)が、令和元年度(26.1%)より1.5ポイント増加している。(図8-5-3)

性別で過去の調査と比較すると、男女ともに令和元年度より増加している。(図8-5-4)

図8-5-3 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較)

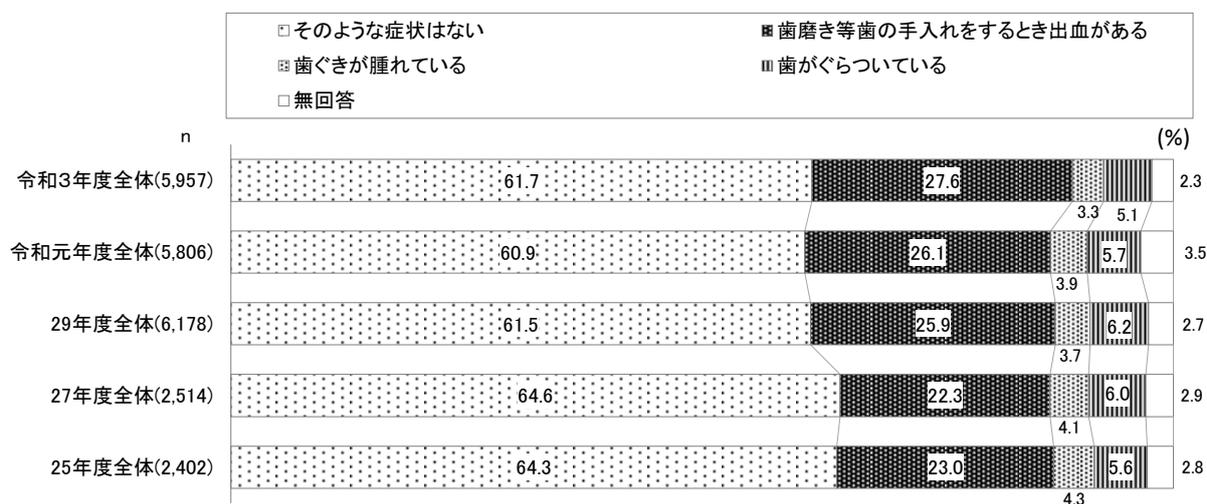
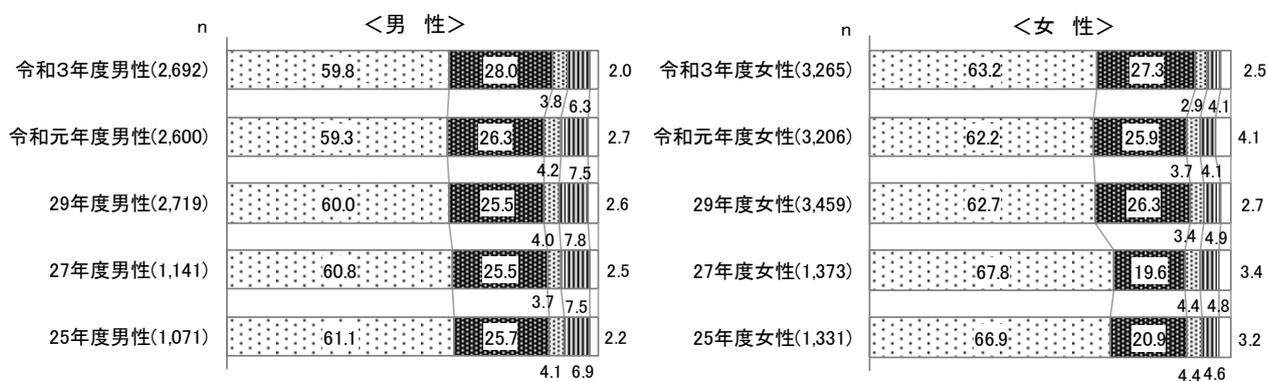


図8-5-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較・性別)



※平成25・27年度調査では「歯を磨くとき、出血がある」を、平成29年度より「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」に変更した。

(6) 口の中を観察する習慣

問33 あなたは、自分の口の中（歯や歯肉の状態）を観察する習慣がありますか。（○はひとつ）

全体では、「ない」が30.3%と最も高く、次いで「毎日ある」が26.8%、「週に1回程度ある」が26.1%となっている。（図8-6-1）

性別にみると、最も差がみられた「ない」では、男性（38.1%）が女性（23.8%）より14.3ポイント高くなっている。（図8-6-1）

性・年齢別にみると、男性ではいずれの年齢も「ない」が最も高くなっている。女性では20歳以上50歳未満と60歳以上で「毎日ある」が最も高く、いずれも2割半ば、または3割を超えている。

（図8-6-2）

図8-6-1 口の中を観察する習慣（全体／性別）

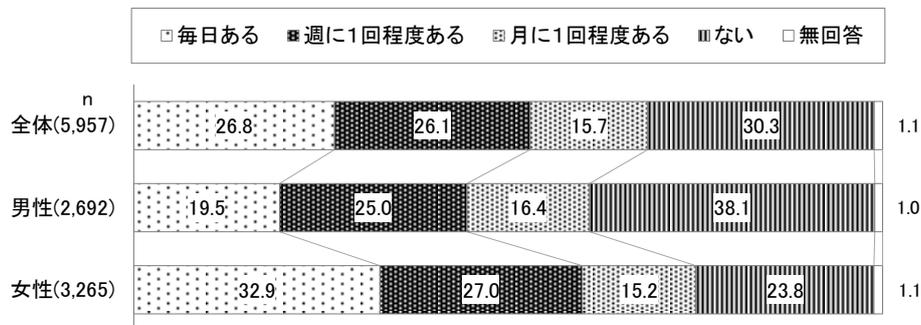
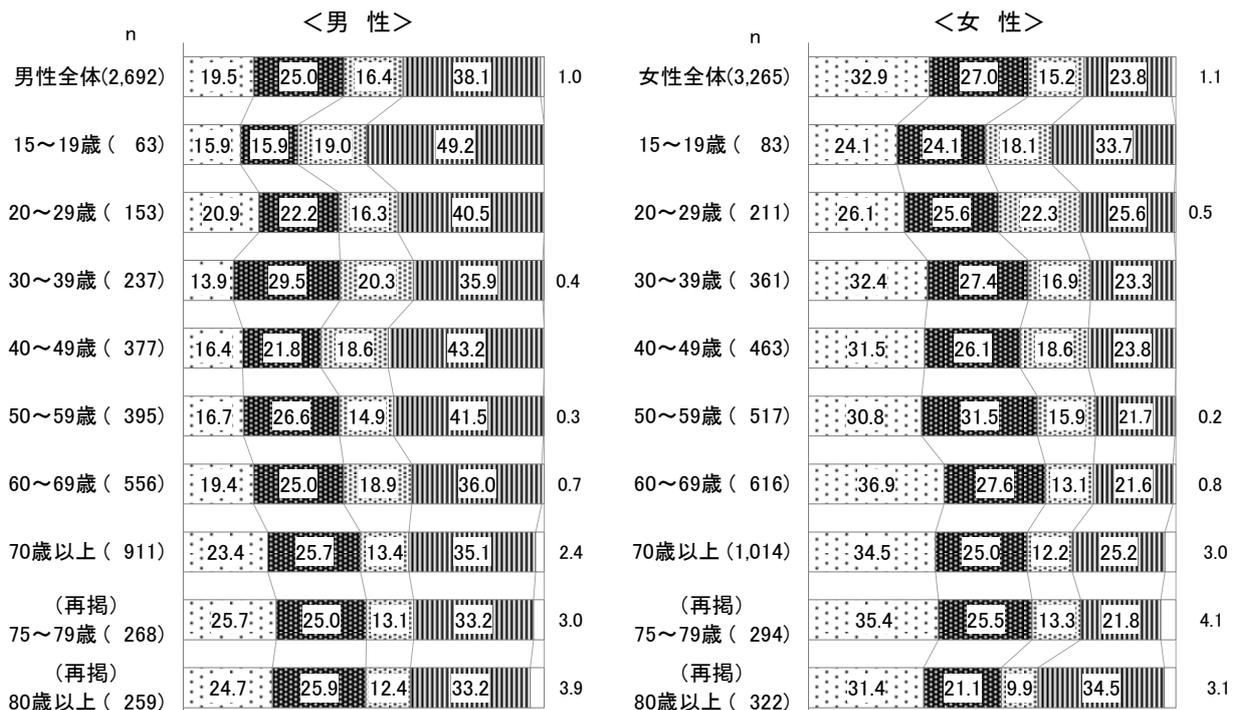


図8-6-2 口の中を観察する習慣（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「毎日ある」(26.8%)は、令和元年度(26.9%)より0.1ポイント減少している。(図8-6-3)

性別で過去の調査と比較すると、「毎日ある」は、女性では、平成29年度以降増加している。

(図8-6-4)

図8-6-3 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較)

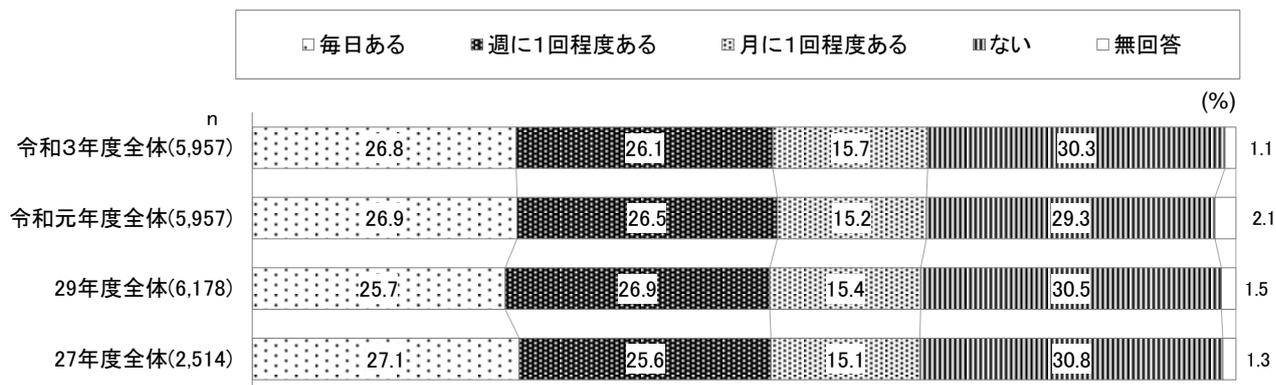
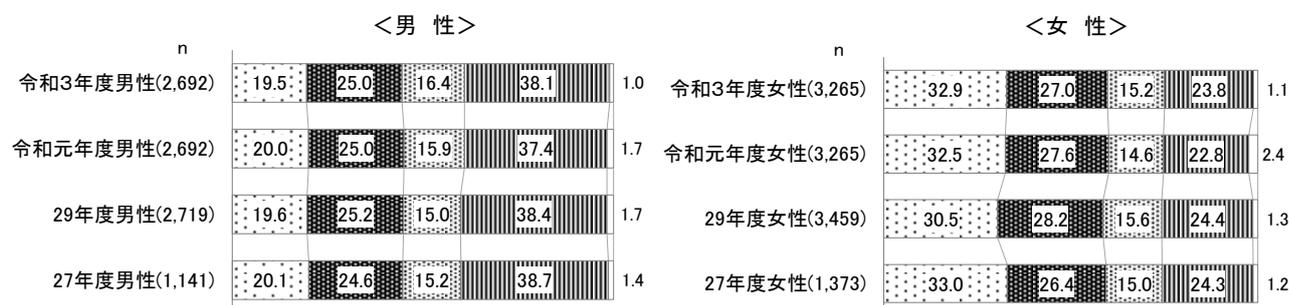


図8-6-4 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査から選択肢を変更している。

(7) ものをかんで食べることができるか

問34 あなたは、ものをかんで食べるとき、どのような状態ですか。(〇はひとつ)

全体では、「何でもかんで食べることができる」が76.9%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が19.0%、「かめない食べ物が多い」が2.3%となっている。(図8-7-1)

性別にみると、「何でもかんで食べることができる」は女性(78.1%)が男性(75.5%)より2.6ポイント高くなっている。(図8-7-1)

性・年齢別にみると、「何でもかんで食べることができる」は、男女とも60~69歳で50~59歳と比べ、15ポイント以上減少している。(図8-7-2)

図8-7-1 ものをかんで食べることができるか(全体/性別)

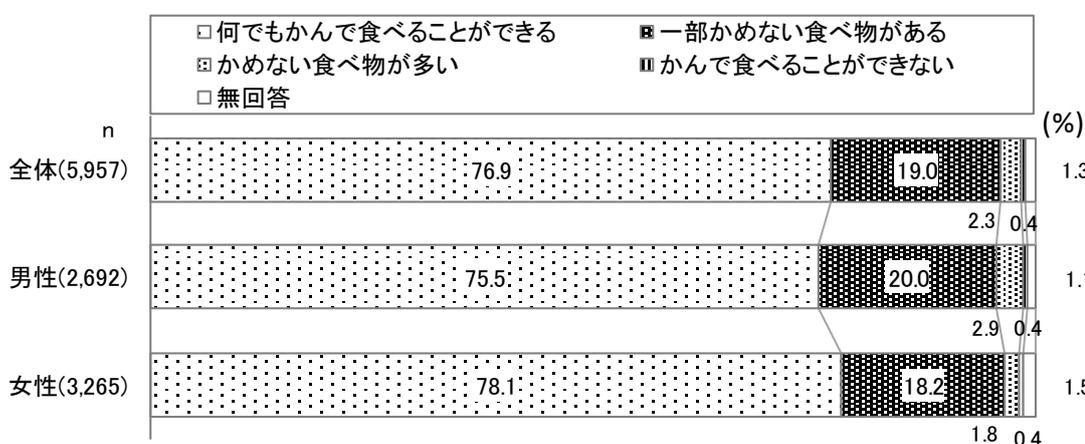
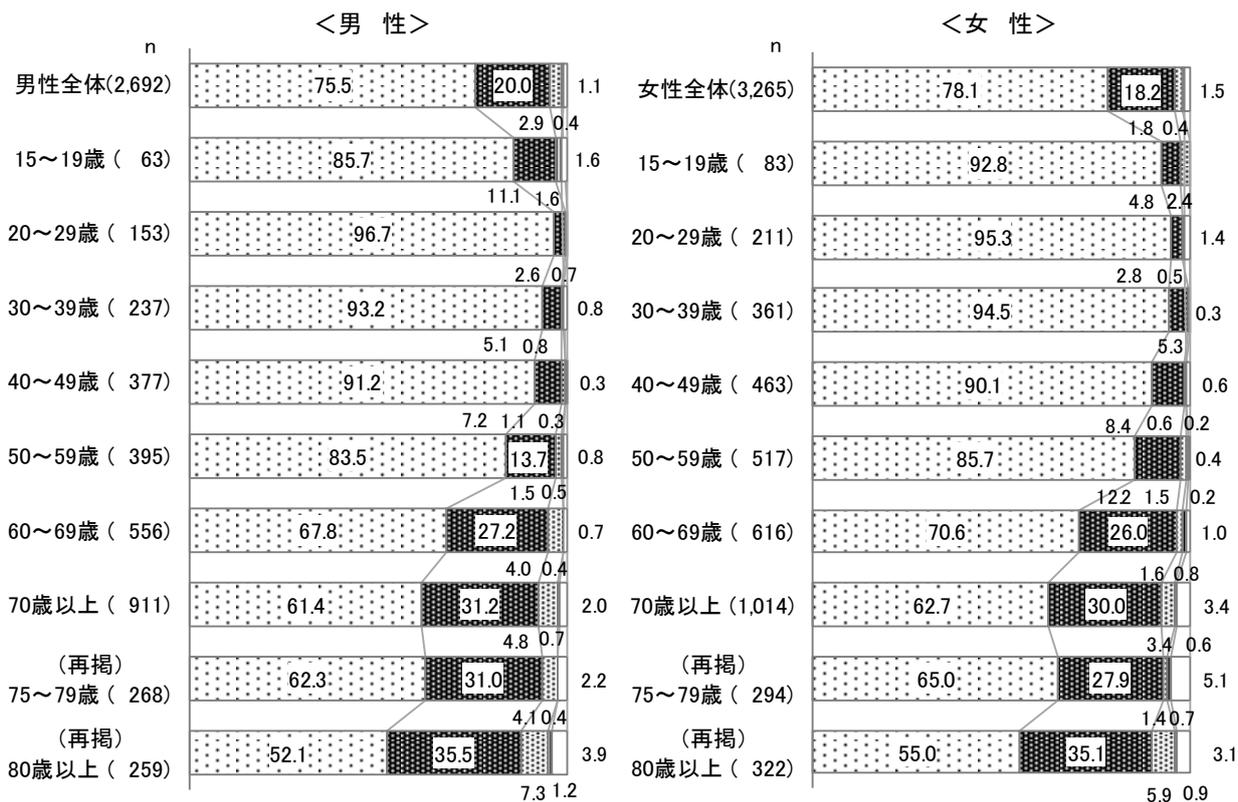


図8-7-2 ものをかんで食べることができるか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「何でもかんで食べることができる」(76.9%)は、令和元年度(76.7%)に比べ、0.2ポイント増加した。(図8-7-3)

性別で過去の調査と比較すると、「何でもかんで食べることができる」は男女ともに令和元年度より増加している。(図8-7-4)

図8-7-3 ものをかんで食べることができるか(過去の調査との比較)

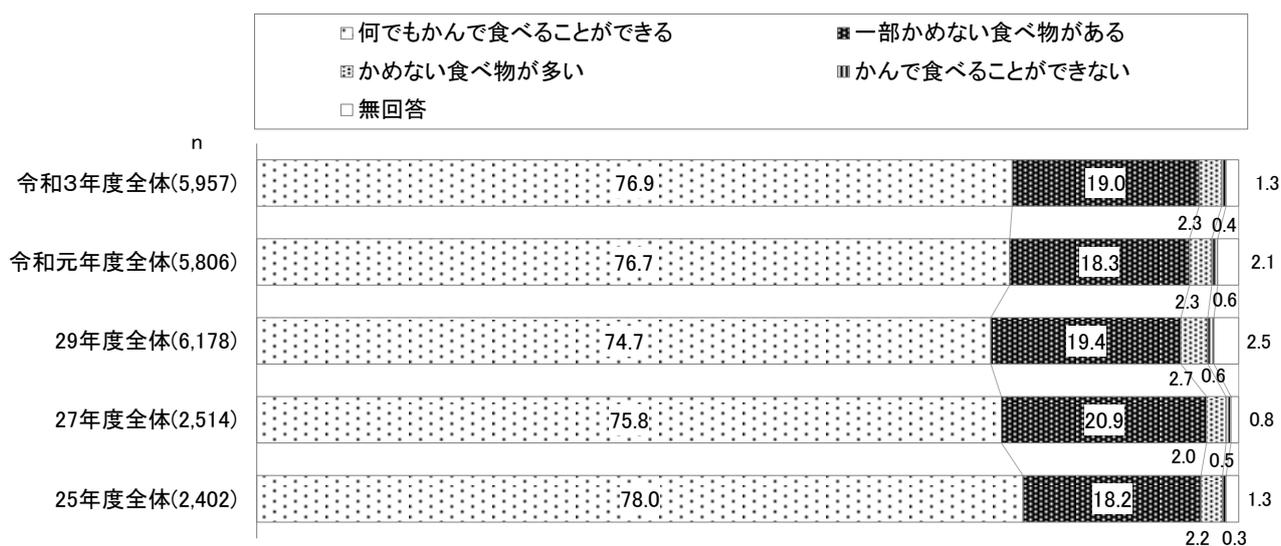
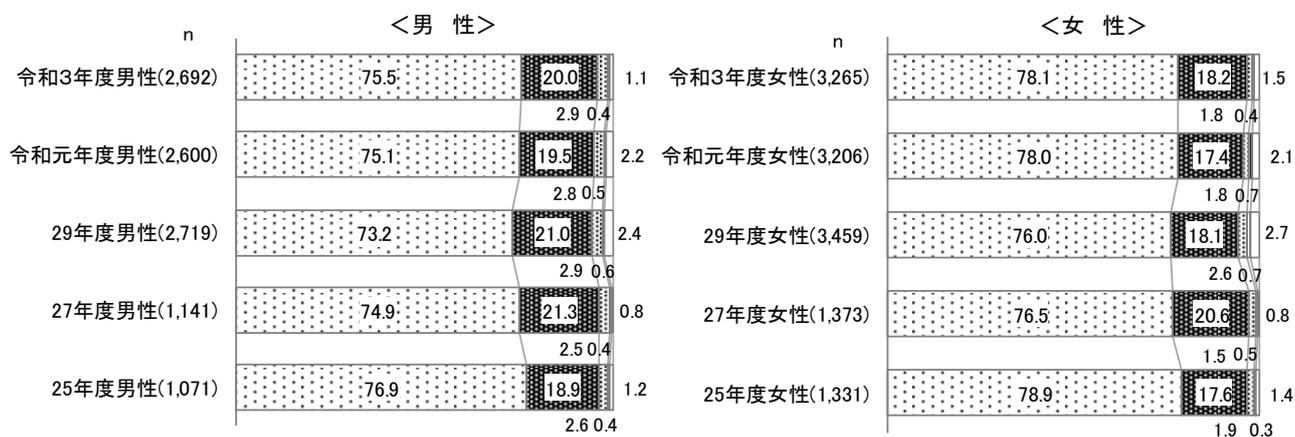


図8-7-4 ものをかんで食べることができるか(過去の調査との比較・性別)



(8) ふだんゆっくりよくかんで食べているか

(問34で「何でもかんで食べることができる」、「一部かめない食べ物がある」、「かめない食べ物が多い」とお答えの方に)
 問34-1 あなたは、ふだんゆっくりよくかんで食べていますか。(〇はひとつ)

全体では、「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」、「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない」がともに38.1%、「ゆっくりよくかんで食べていない」が12.6%となっている。「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」を合わせた《ゆっくりよくかんで食べている》は48.0%となっている。(図8-8-1)

性別にみると、「ゆっくりよくかんで食べていない」は、男性(15.5%)が女性(10.2%)より5.3ポイント高くなっている。(図8-8-1)

性・年齢別にみると、《ゆっくりよくかんで食べている》は、男女ともに70歳以上で最も高く、男性が57.0%、女性が64.1%となっている。女性は、20~29歳も高い一方、男性では50~59歳、女性では40~49歳で最も低く、男性が31.5%、女性が40.8%となっている。(図8-8-2)

図8-8-1 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(全体/性別)

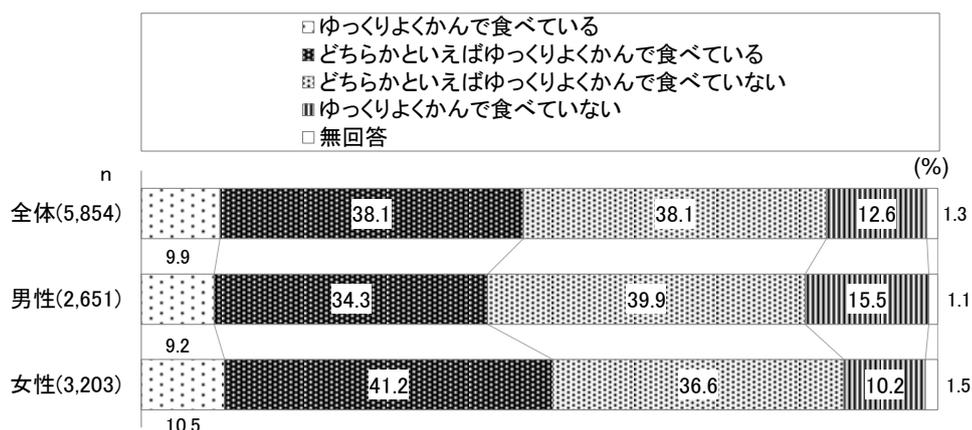
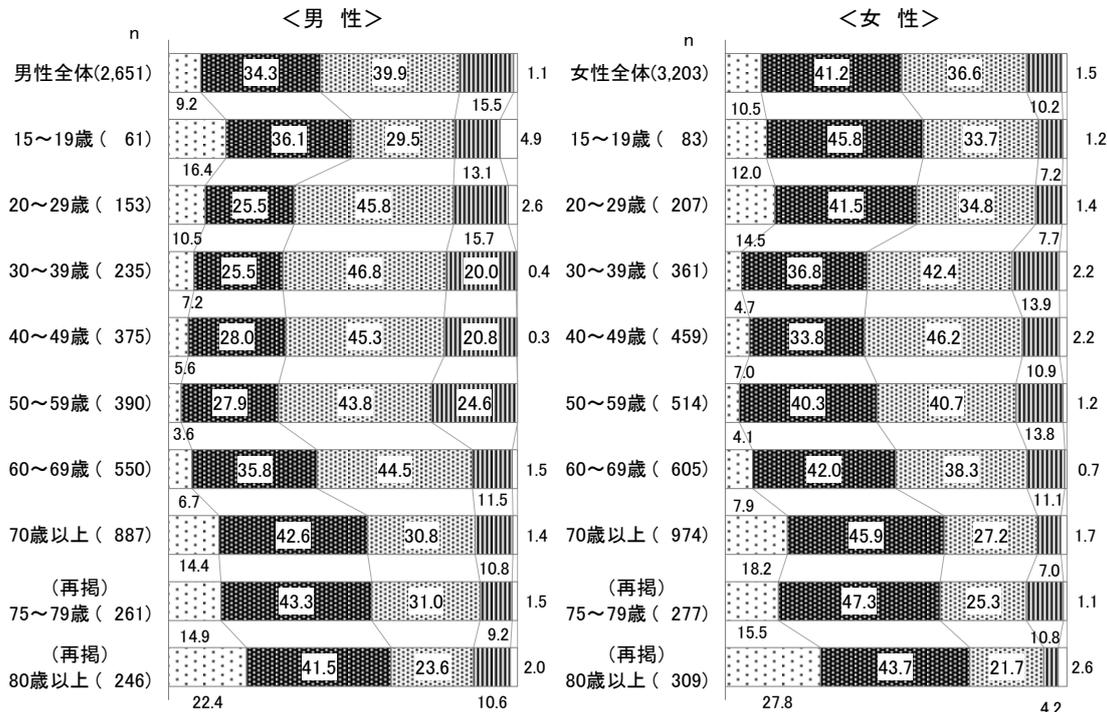


図8-8-2 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、《ゆっくりよくかんで食べている》(48.0%)は、令和元年度(48.1%)に比べ0.1ポイント減少した。(図8-8-3)

性別で過去の調査と比較すると、《ゆっくりよくかんで食べている》女性は、平成29年度以降増加している。(図8-8-4)

図8-8-3 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(過去の調査との比較)

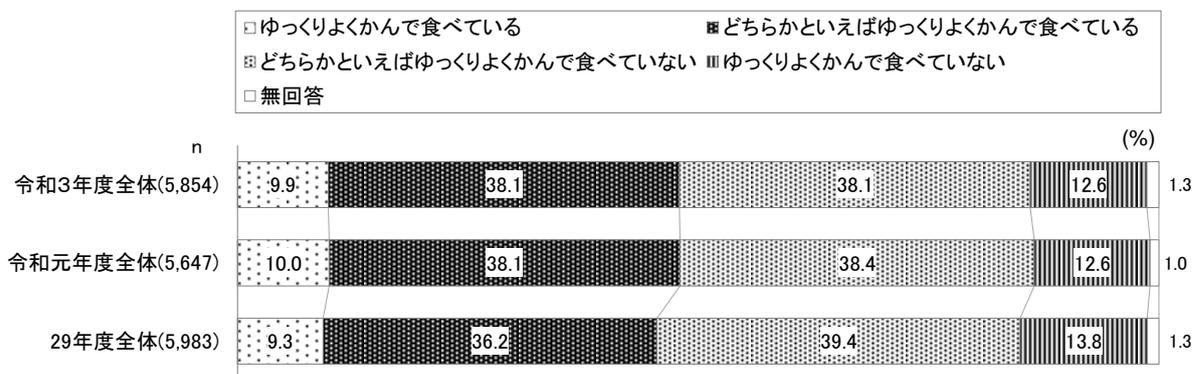
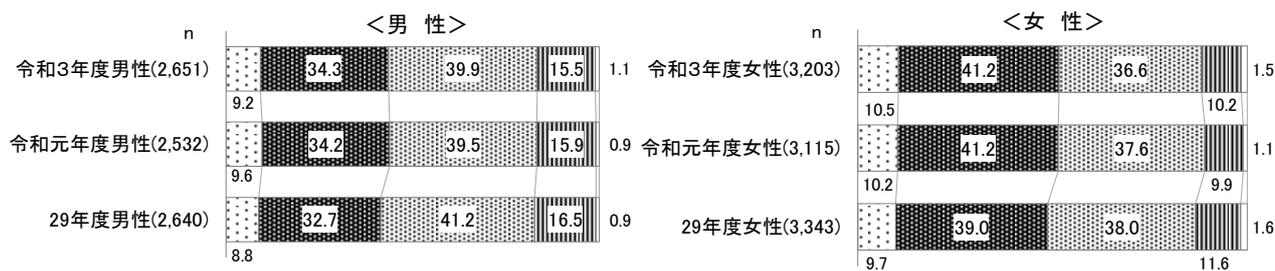


図8-8-4 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(過去の調査との比較・性別)



※平成25・27年度調査では、この質問をしていない。